

2018年度（平成30年度）総会

総 会 資 料

2017年度事業報告	P 2	～	P 4
2017年度収支決算報告			P 5
2018年度事業計画			P 6
2018年度収支予算			P 7
会則について	P 8	～	P 9
2018年度役員名簿			P 10

大阪宅老所・グループハウス連絡会

日時：2018年6月23日（土）17時～20時

総会・学習会会場：大阪市立社会福祉センター

第1会議室

（大阪市天王寺区東高津町12-10）

*最寄駅：地下鉄「谷町9丁目駅」から徒歩7分
近鉄「上本町駅」から徒歩3分

大阪宅老所・グループハウス連絡会

第 14 回定期総会 次第

I 部 総会 17時～17時45分

- 1.開会挨拶 米田 早苗（NPO法人ほっとすまいる理事長）
- 2.議長選出
- 3.議事
 - 第 1 号 議案 2017 年度事業報告承認の件
 - 第 2 号 議案 2017 年度収支決算承認の件並びに監査報告
 - 第 3 号 議案 2018 年度事業計画承認の件
 - 第 4 号 議案 2018 年度収支予算承認の件
 - 第 5 号 議案 会則の変更の件
- 4.世話人紹介
- 5.閉会挨拶 隅田 耕史（NPO法人フェリスモンテ理事）

II 部 学習会 18時～19時30分

「地域で暮らす」 ～サロンの意義とこれから～

講師：藤井 博志（関西学院大学 人間福祉部 社会福祉学科 教授）

III 部 懇親会 20時～

■ 参加費：2980 円【税別】 （飲み放題・食べ放題付き）

■ 会 場：「華中苑」

住所：大阪府中央区上汐 2 丁目 3-10LEES ビル 1 階

電話：06-6765-8466

*懇親会参加は事前申し込みをお願いします。6月20日（水）

までに同封の総会出欠用紙にてお申込みください。

2017年度（平成29年）事業報告

2017年度は、大阪市ボランティア活動振興基金の「福祉課題に取り組む調査研究支援事業」の助成を受けて「介護問題ホットライン事業」を行った。この事業は実行委員会形式をとり、大阪宅老連が中心となって、高齢社会をよくする女性の会・大阪やケアワーカーなどの介護従業者のみなさんの多大な協力を得て実施し、各団体間の交流、連携が進んだ。

サロン講座の開催支援事業は、前年度からのフォローアップ講座を開催した大阪市鶴見区社会福祉協議会と大阪府門真市社会福祉協議会からの委託を受け実施、好評を得た。また、過去の調査研究事業で明らかになった課題の一つである、次世代を担う福祉人材の育成に関して研修会を開き、事業継続のための方策を探った。

会員への情報提供はML（メーリングリスト）による提供を行った。

宅老所・グループホーム全国ネットワークの近畿ブロックの会議にも参加し、事務局として滋賀県や兵庫県の連絡会とも連携し、情報交換・相互交流を図った。

◎会員数(2018年3月31日現在) 団体会員：15団体 個人会員：23人

1. 世話人会の開催（8回）

4月6日・5月11日・6月8日・8月2日・11月1日・12月16日
2月3日・3月23日

2. 総会の開催

日時：6月24日（土）17時～18時
場所：大阪市立大学 サテライト教室211号（駅前第2ビル6階）
出席人数： 14人 会員外2人

3. 「サロン講座」の開催支援事業

(1) 社会福祉法人大阪市鶴見区社会福祉協議会からの委託事業

開催日時：4月24日 13：30～15時
場 所：大阪市鶴見区在宅サービスセンター
講 師：長福洋子
参加者：4人

(2) 社会福祉法人門真市社会福祉協議会からの委託事業

開催日時：11月20日・12月1日 13時30分～16時30分（全2回）
場 所：門真市保健福祉センター
講 師：竹村安子・柳晴美・長福洋子
参加者：のべ38人

4. 学習会・交流会の開催

- (1) 日時：6月24日 18時30分～20時
場所：大阪市立総合生涯学習センター 第5研修室
内容：「地域共生社会実現とは？」
～介護保険制度のこれまでから見える未来～
講師：河原正明（姫路市地域自立支援協議会会長）
コメンター：水野博達（大阪市立大学創造都市研究科特任教員）
参加者：28人
第13回総会時に開催 交流会参加：15人
- (2) 日時：11月11日 15時～17時
場所：PLP会館
内容：「相模原事件と関わって障がい者の自立支援を問う」
講師：最首 悟（和光大学名誉教授）
参加者：120人
- (3) 日時：2月3日 15時～17時
場所：大阪市立社会福祉センター第1会議室
内容：「医療と介護は連携できるか？」
～地域包括ケアシステムの行き先～
講師：井上由美子（元厚労省社会保障審議会介護保険部会委員）
コメンター：水野博達（大阪市立大学創造都市研究科特任教員）
参加者：22人
- (4) 日時：3月24日 13時30分～16時
場所：大阪市立総合生涯学習センター 第2研修室
内容：「介護問題ホットライン事業報告書完成報告会と交流・学習の集い」
報告者：植本眞砂子（高齢社会をよくする女性の会・大阪 事務局長）
コメンター：水野博達（大阪市立大学創造都市研究科特任教員）
参加者：33人

5. 次世代リーダー育成研修事業

- ①日時：7月29日 15時～17時
場所：大阪市立総合生涯学習センター第6研修室
内容：リーダー研修・交流会
「本当に大切なことをするための実地指導・書類作成対策（ケアプラン編）」
講師：高村弘（NPO法人ひかり理事長）
アドバイザー：水野博達（大阪市立大学創造都市研究科特任教員）
参加者：8人

6. 調査・研究事業

- ・「介護問題ホットライン事業」を大阪市ボランティア活動振興基金「福祉課題に取り組む調査研究支援事業」助成金 50 万円を受けて実施した。

7. 広報

- ・関係団体や大阪宅老所・グループハウス連絡会の事業等の情報提供を適宜メーリングリストにより行った。
- ・ホームページの立ち上げの検討、試作版を作成した。

8. その他、ネットワークについて

以下の団体と連携、情報提供を行った。

- ・宅老所・グループホーム全国ネットワーク
 - *近畿ブロックの事務局会議に出席（6月12日・8月24日 会場：新大阪 新丸ビル）
 - *近畿ブロック研修・交流会（2月6日 会場：NPO 法人フェリスモンテ サロン花しょうぶ）
- ・NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター
- ・コミュニティカフェ全国連絡会
- ・兵庫県宅老所・グループホーム・グループハウス連絡会
- ・街かどケア滋賀ネット

以上

第2号議案 2017年度収支決算の件

2017年度 大阪宅老所・グループハウス連絡会収支報告書

【収入の部】

科目	金額	備考
会費	130,000	団体会費@10,000×9口 個人会費@2000×20口
参加費	31,500	学習会参加費
寄付金	10,558	会員寄付
雑収入	11	銀行利息
サロン講座講師派遣料	120,000	門真社協サロン立ち上げ相談・鶴見区サロン講座 講師派遣
計	292,069	
前期繰越金	1,174,453	
合計	1,466,522	

【支出の部】

	決算額	
事業費		
会場費	31,140	学習会・総会会場代・機器使用料
謝金	70,000	学習会講師謝礼金
交通費	30,000	学習会講師交通費
雑支出	14,720	講師用飲食代負担金・お水 等
印刷費	16,900	学習会レジメ印刷
サロン講座講師料	84,000	門真社協・鶴見社協講師依頼(竹村・わいわい・エフ・エー)
助成金事業	101,710	ホットライン事業自己負担金
会費	10,000	宅老連全国ネット 年会費
管理費		
事務費	200,000	エフ・エー 事務局委託費
事務用品費	738	角封筒代
交通費	22,630	事務局スタッフ交通費(近畿ブロック会議・助成金事業・全国ネット会議等)
通信費	5,600	総会資料・案内等 発送代
会議費	4,000	世話人会会場費
計	591,438	

当期収支差益 ▽299,369

前期繰越金 1,174,453

次期繰越金 875,084

大阪宅老所・グループハウス連絡会の2017(平成29)年度の会計収支は適正に処理されていることを報告します。

平成 年 月 日
 会計監査

印

2018年度（平成30年）事業計画(案)

2018年度は、今後の連絡会の方向性を検討しつつ、必要な事業について実施を図っていく。昨年度に実施したホットライン事業から出てきた課題について、今年度も助成金申請を行い、アンケート調査を行う。学習会、交流会などの開催時に会員のニーズや課題収集に努め事業化を考えていく。また、各事業を通じて宅老連の認知度を高め、会員の拡大を図る。

1. 世話人会の開催

10回程度の開催を予定

2. 総会・連絡会・学習会の開催

① 総会と同時に学習会を開催する。

② 情報交換・相互交流のため、年2回の連絡会を開催する（10月・1月を予定）

3. 次世代リーダー研修事業

1～2回実施する。

4. 「居場所」づくり事業

「サロン講座」をパックにして委託事業受託をめざす。

5. 調査・研究事業

「介護と人権の共同調査研究」事業を他団体と協働して行う。

6. 記念日活動

国際高齢者デイの10月1日、介護の日の11月11日などに「介護の社会化」を求める活動を行う。

7. 広報

① 関係団体や宅老連の事業等の情報提供を適宜メールマガジンで行なう。

② ホームページを作成、運営していく。

③ 連絡会として行政・社協等に「サロン講座」の企画、開催などの支援を行っていく、という広報を行う。

④ 連絡会のパンフレットを作りなおす。

8. その他状況に応じて必要な事業を実施する。

以上

第4号議案 2018年度収支予算の件

2018年度 大阪宅老所・グループハウス連絡会 予算(案)

【収入の部】

科目	金額	備考
会費	250,000	団体会費@10,000×20口 個人会費@2000×25口
参加費	30,000	学習会・研修会参加費
寄付金	10,000	会員寄付
雑収入	10	銀行・ゆうちょ銀行 利息
講師派遣料	100,000	サロン講座 講師謝礼金
計	390,010	
前期繰越金	875,084	
合計	1,265,094	

【支出の部】

	決算額	
事業費		
会場費	100,000	学習会会場代・機器使用料 他
謝金	100,000	講師謝礼金 (次世代育成研修他)
会議費	10,000	世話人会会場費・茶菓代 等
雑支出	5,000	
調査研究事業	100,000	団体負担金(助成金事業)
会費	10,000	宅老連全国ネット 年会費
管理費		
事務費	200,000	エフ・エー 事務局委託費
事務用品費	10,000	
印刷費	20,000	学習会レジメ等印刷費
通信費	5,000	
交通費	5,000	
雑費	10,000	
広報	30,000	ホームページ管理費
計	605,000	

収支差益 ▽214,990

前期繰越金 875,084

次期繰越金 660,094

第5号議案 会則の変更の件

*下線部分を加筆、変更しています。

「大阪宅老所・グループハウス連絡会」会則

(名称)

第1条 本会の名称は「大阪宅老所・グループハウス連絡会」とする。

(事務局)

第2条 本会の事務局担当は長福洋子で、事務局窓口はNPO法人エフ・エー（住所：大阪市阿倍野区阪南町3-31-15）に置く。

(目的)

第3条 本会は、地域での暮らしや生活を展開している宅老所やグループハウス・サロンなどの事業を実施している（関心を持っている）市民団体の相互交流や学びあいを進め、資質の向上を図るとともに、地域社会と連携した様々な小規模ケアのあり方の研究を通して、利用者の人権と個別性を尊重した利用者本位のケアを考え、宅老所・グループハウス・サロンなどが社会の中で理解され、普及が図られていくことを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 宅老所やグループハウス・サロンなどの情報交換・相互交流。
- (2) 宅老所やグループハウス・サロンなどの関係者の研修の実施。
- (3) 宅老所やグループハウス・サロンなどの理解と普及を図る事業の実施。
- (4) その他、目的達成に必要な事業に関すること。

(会員)

第5条 本会の会員は、大阪府下、大阪市内の市民活動団体および、本会の趣旨に賛同し入会を希望する団体・個人とする。

(賛同会員)

第6条 本会の目的に賛同する個人や団体は、賛同会員として本会の事業に参加することができる。

(世話人)

第7条 本会に、次の世話人を置く。

- (1) 世話人代表 若干名
- (2) 世話人 若干名
- (3) 監事 2名

(世話人の任務)

第8条 世話人代表は、本会を代表し、会務を総括する。

世話人副代表は、世話人代表を補佐する。

監事は、本会の会計を監査する。

(相談役)

第9条 本会は必要に応じて相談役を置くことができる。

(会費)

第10条	会	員	団体	1口	10,000円
			個人	1口	2,000円

賛同会員 団体 1口 10,000円
個人 1口 2,000円

(会計年度)

第11条 会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

付 則

この会則は平成29年4月1日から施行する。

この会則は平成30年4月1日から施行する。

以上

2018年度 役員名簿

大阪宅老所・グループハウス連絡会

役 職	氏 名	所 属
世話人共同代表	隅田 耕史	NPO 法人 フェリスモンテ 理事・事務局長
世話人共同代表	米田 早苗	NPO 法人 ほっとすまいる 理事長
世話人共同代表	高村 弘	NPO 法人 ひかり 理事長
世話人	柳 晴美	一般社団法人 わいわい 代表理事
世話人	高山 寛	有限会社 クローバーホーム 代表取締役
世話人	小寺 信行	株式会社 和昭 取締役
世話人	木下 真弓	おおさかパルコープ
事務局	長福 洋子	NPO 法人 エフ・エー 理事
監事	竹村 安子	
会計監査	水野 博達	大阪市立大学創造都市研究科非常勤教員